

四宮晟教授の略歴および著作目録

略歴

- 昭和20年 9 月 東京文理大学心理学科卒業
- 昭和21年 9 月 千葉県立長狭中学校教諭
- 昭和23年 4 月 千葉県立長狭高等学校教諭
- 昭和26年 6 月 千葉大学講師（教育学部）
- 昭和29年 3 月 千葉大学助教授（教育学部）
- 昭和37年 4 月 東京教育大学教育学部講師に併任（昭和50年 3 月まで）
- 昭和39年 4 月 琉球大学招聘教授として出講
- 昭和41年 9 月 千葉大学教授（教育学部）
- 昭和43年11月 教育学博士（東京教育大学）
- 昭和44年 4 月 千葉大学教育学部附属小学校長に併任（昭和49年 3 月まで）
- 昭和52年 6 月 千葉大学評議員に併任（昭和54年 5 月まで）
- 昭和56年 4 月 千葉大学教育学部附属教育工学センター長に併任（昭和58年 4 月まで）
- 昭和56年 7 月 千葉大学教育学部長に併任（昭和60年 6 月まで）
- 昭和56年 7 月 千葉大学評議員に併任（昭和60年 6 月まで。この間、千葉大学長事務代理を歴任）
- 昭和57年 4 月 千葉大学大学院教育学研究科長に併任（昭和60年 6 月まで）
- 昭和58年 4 月 千葉大学教育学部問題行動総合研究指導室長に併任（昭和61年 3 月まで）
- 昭和60年 4 月 指定職
- 昭和61年 3 月 千葉大学教育学部を停年により退官
- 昭和61年 4 月 千葉大学名誉教授

昭和61年4月 千葉敬愛短期大学教授
平成2年4月 敬愛大学教授
平成5年3月 千葉敬愛学園評議員
平成5年3月 敬愛大学を停年により退職
平成5年4月 敬愛大学非常勤講師，現在に至る

この間，学会活動として，日本心理学会員並びに議員，日本教育心理学会員並びに同学会教育心理学研究編集委員，日本応用心理学会員等。

教育行政面では，文部省大学設置審議会専門委員，教育職員養成審議会委員，大学基準協会教育学部教育研究委員会委員，日本教育大学協会理事，同関東地区会長等。

また，千葉県下での教育関係の公的活動として，千葉県立養護教諭養成所長並びに顧問，千葉県青少年問題協議会委員，千葉県総合教育センター協議会委員，千葉県中等教育教育課程改善委員会委員，千葉県保母試験委員，千葉県単位制高等学校検討委員会会長，千葉県公私立高等学校協議会会長等を歴任し，昭和38年11月並びに昭和45年2月には，「社会教育功労者」としてそれぞれ千葉市教育委員会，千葉市長より表彰を受けた。

主要著書並びに主要論文

発達心理学の研究を48年にわたって続けいくつかの著書・論文等を発表してきた。中でも、『言語的思考における抽象作用の発達的研究』は幾多の発見を含む独創的業績で，この論文によって昭和43年11月，教育学博士（東京教育大学）の学位を授与された。当論文の内容を中心とした文部省科学研究費補助出版の『言語的思考における抽象作用の発達的研究』は，斯界で最も権威のある概観書『児童心理学の進歩』（1972）の中で『……こ